

市長定例記者会見報告事項概要(8月)

令和3年8月30日(月)午後1時30分～

1. 新型コロナウイルス感染症対策について

- 本市における新規感染者数は、今月中旬以降、若年層を中心に感染者の急激な増加が確認されている。
- この感染拡大に対応するため、現在、市有施設の休館や講座等の市主催のイベントの中止、メバル公園等の閉鎖、大型複合遊具の使用禁止などの措置を講じており、市民の皆様にはご迷惑をお掛けしているが、国、県、市が一体となって取り組んでいかなければならないため、ご協力をお願いしたい。
- 既にお知らせしているが、市立小中学校の2学期の開始日を8月25日から9月1日に延期し、その間に、希望する全ての教職員等に対してPCR検査を実施し、9月1日からの開始に向け、安全・安心な教育体制を確保している。
- 今後必要となる経費については、補正予算で計上し、しっかりと対応していく。
- ワクチン接種について、本市においては、防府医師会、防府歯科医師会、防府薬剤師会の皆様の御協力により、順調に進んでいる。
- 現時点で、65歳以上の高齢者の方については、9割以上の方への接種が完了しており、8月末には、12歳以上の対象者の約8割、全市民の7割以上の方への1回目接種を完了し、6割近くの方が2回目接種を完了する。
- 9月末には、当初想定していた接種目標は達成する見込み。
- 現在も接種希望者の予約を受け付けており、今後、ワクチンの供給量や

種類などに応じて進めていく。

- ファイザー社製のワクチンが配分される場合は、JA 会館での集団接種と各医療機関での個別接種を実施し、モデルナ社製のワクチンが配分される場合は、市保健センターでの集団接種を実施する予定としている。
- 配分される具体的なワクチンの種類が判明し次第、しっかりとお知らせする。
- また、県立総合医療センターにおいては、接種対象者の年齢に制限があるが、ファイザー社製やモデルナ社製のワクチンに対してアレルギーがあり、接種できなかった方も対象となる、アストラゼネカ社製のワクチンを接種することもできる。
- 今後も、新型コロナウイルス感染症の1日も早い収束を目指し、国、県及び三師会の方々、市民の皆様と協力し、ワクチン接種等の感染症対策にしっかりと取り組んでいく。

2. 令和3年9月補正予算案の概要について

(1) 議案第52号分

① PCR検査実施事業

- 新型コロナウイルスの低年齢層の感染状況を踏まえ、小中学校の2学期開始までに安全・安心な教育環境を確保するため、全ての教職員等への緊急PCR検査の実施や、保育所・幼稚園等の全ての保育士等に対するPCR検査を予備費にて対応している。
- 9月以降についても、保育所・幼稚園等の保育士等を含め、小中学校の児童、生徒、教職員等を対象としたPCR検査について、感染状況に応じて柔軟に実施できるよう、制度を拡充する。

② 参議院議員補欠選挙

- 10月24日に執行される参議院議員補欠選挙に要する経費を計上している。
- 期日前投票所については、昨年の市議会議員選挙の際に設置した「イオンタウン防府」に6日間設置するとともに、建て替え等に伴い駐車場が確保できないという課題がある市庁舎の代替会場として「ゆめタウン防府」に16日間設置することとしている。

(2) 議案第53号分

① 新型コロナウイルス感染症対策としての事業者支援

● 中小・小規模事業者等総合相談窓口の延長

- 市内での感染状況を踏まえ、中小企業者等からの相談業務などに継続して対応できるよう、防府商工会議所と協力してルルサス防府2階に開設している「中小・小規模事業者等総合相談窓口」の開設期間を12月末まで3か月延長する。

● がんばる事業者応援事業

- 「新たな生活様式」に対応した業態転換等の取り組みを支援する「がんばる事業者応援補助金」を当初予算に計上し、6月補正で増額したが、長引くコロナ禍において、いまだ厳しい経営状況にある中小企業者等からの、さらに多くのニーズに対応できるよう、再度、予算を増額することとした。

● 中小企業DX推進事業

- コロナ禍において、中小企業の皆様がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用した新たなビジネスモデルに変革するため、中小企業サポートセンター（コネクト22）の指導により作成した事業計画に基づく、業務の効率化や販路拡大等への取組を行う中小企業等に対し、対象事業費の4分の3、最大100万円を補助する。

② 通学路等緊急交通安全対策事業

- 現在、小学校周辺の横断歩道を対象に進めているカラー化について、千葉県八街市での交通事故を受けて実施した通学路等の緊急点検に基づき、信号機のない横断歩道のカラー化の対象をスクールゾーン全体に拡大し、対象となる約160箇所について速やかに実施する。
- また、不明瞭な横断歩道等の復旧についても、学校周辺や街中での特に緊急度の高い個所から順番に実施する。
- 子どもの安全・安心は第一と考えており、しっかりと進めていく。

③ 8月大雨関連事業

● 緊急河川改修事業

- 大雨により被災した馬刀川と後田川の2河川について、緊急的な改良工事を実施する。

● 災害対策事業

- これまでの大雨等による小規模な応急復旧を当初予算枠で対応してきたが、これから本格的な台風シーズンを迎えるため、想定される災害に迅速に対応できるよう予算を復元する。

④ 債務負担行為

- 「庁舎建設事業」、国事業に係る「佐波川睦美橋架替事業負担金」、防府市、山口市、萩市の3市が共同して行う「消防通信指令業務共同運用事業負担金」の3事業について設定している。
- 「庁舎建設事業」については、庁舎棟、福祉棟建設工事及び工事管理業務が事業内容となるため、限度額の104億円には、庁舎棟、福祉棟竣工後に予定される1、4、5号館の解体工事等は含まれない。
- 庁舎建設の今後のスケジュールについては、10月に入札公告、12月に入札を行い、1～2月に仮契約、3月に契約議案を議会へ上程する予

定としている。

(3) 9月補正予算の財源

- 9月補正予算の財源は、国から追加内示のあった新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を最大限活用するとともに、地方債については有利な緊急自然災害防止対策事業債を活用するなど、市の実質負担額が可能な限り圧縮できるよう対応している。